



長寿を祝い、各地域で敬老会を開催



元気にエイサーを踊るつくしこども園の園児たち



平安名区綱引、若衆を乗せて練り歩く

# 市議会だより



Vol.82

令和7年

2025年12月1日

題字を書してくれた生徒  
うるま市立あげな中学校  
うるま → 嘉数 佑真  
市議会 → 小林 日之光  
だより → 仲西 満里樹

## 市議会のこと、もっと知りたい

### contents

市議会早分かり

令和6年度決算を認定…………… P2

本会議での主な質疑(9月定例会)…………… P3

本会議での主な討論…………… P4~5

公表します議案の賛否・議決結果(9月定例会)…………… P6~7

「市政に反映」一般質問 29の視点(9月定例会)… P8~22

常任委員会の審査概要(9月定例会)…………… P23

意見書・抗議決議の要請事項・編集後記…………… P24



「津堅小中学校、みんなで大運動会」  
大いに盛り上がった島内外から250人以上が  
参加しての運動会、綱引き競技の様子

うるま市議会では広報に関するアンケートを実施します。  
QRコードからご回答いただけます。  
貴重なご意見をお聞かせください。



# 令和6年度 一般会計歳入歳出決算

## 認定

うるま市議会第184回9月定例会に提案された令和6年度一般会計歳入歳出決算については、各常任委員会へ分割付託して慎重に審査を行い、本会議において認定しました。

### 歳入決算額 798億5,257万円



(グラフ単位：千円)

県支出金 9,777,430  
市債 4,111,434

### 歳出決算額 767億1,510万円



## うるま市が掲げるまちづくりの 6つの基本目標 ごとの、令和6年度の主要施策(抜粋)

### 1 みんなで支えあう健やかなまちづくり

- 障害者相談支援事業（委託相談） 48,012千円
- 基幹相談支援センター運営事業 22,614千円
- 重層的支援体制整備事業への移行準備事業 29,011千円



### 2 子どもがいきいきと育つまちづくり

- 出産・子育て応援給付金事業 106,487千円
- 沖縄子供の貧困対策事業 111,780千円
- 拠点型子供の居場所運営支援事業 86,714千円



### 3 まちの活力を生み出す産業づくり

- 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業 110,994千円
- 家畜飼料価格高騰緊急対策事業 80,989千円
- 農業基盤整備促進事業（具志川地区） 76,256千円



### 4 自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくり

- 川崎ルーシー河線道路改良事業 237,480千円
- 天願公園整備事業 216,700千円
- 火葬施設老朽化対策事業 207,688千円



### 5 郷土に誇りをもち未来を拓く人づくり

- 具志川小学校校舎増改築事業 1,633,133千円
- 与那城総合公園陸上競技場整備事業 493,323千円
- 新石川調理場整備運営事業 243,328千円



### 6 市民と行政が一体となった協働のまちづくり

- 沖縄県消防指令センター整備事業（指令機器） 1,543,908千円
- 沖縄県消防指令センター整備事業（庁舎建設） 1,410,119千円
- 高規格救急自動車購入事業（石川署） 44,475千円



# 令和6年度 特別会計歳入歳出決算

## 認定

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	16,062,774,782円	15,739,983,891円
介護保険特別会計	11,907,669,688円	11,682,865,925円
後期高齢者医療特別会計	1,530,934,068円	1,526,006,197円
沖縄県消防通信指令施設運営協議会事業特別会計	1,543,907,992円	1,543,907,992円



# 本会議での主な質疑（令和7年9月第184回定例会）

認定第1号 令和6年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について

**Q** 伊盛サチ子議員 海岸漂着物処分運搬事業181万5千円の委託料の内訳、漂着物の処分方法を伺う。

**A** 海洋ごみ回収及び処理に係る事業で、委託料の内訳は、地元住民や漁業者により海岸漂着ゴミをボランティアで回収し、運搬・処分するための業務の委託。処分方法は、廃棄物処理法に基づき県知事から許可を受けた施設において回収・運搬し、適切に処分している。

**Q** 仲程孝議員 換地処分徴収清算金2,124万4,820円の内容は、清算金対象の事業は「安慶名土地区画整理事業」で、土地区画整理法第94条に基づき、土地区画整理事業前と事業後の土地評定価格の差を金銭の徴収・交付により清算するもので、徴収を行う権利者からの清算金である。

**Q** 認定第2号 令和6年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

**Q** 伊盛サチ子議員 収納率向上特別対策事業費の事業取組状況及び成果を伺う。

**A** 国保事業の健全運営推進のため、国保税の適正な賦課、収納率向上に寄与する事業で、主な経費は窓口業務に従事する会任職員の報酬や職員手当。成果は、令和6年度の現年度徴収率は94.19%で、対前年比で0.32%増、約2億3,300万円の収入増となっている。

議案第51号 令和7年度うるま市一般会計補正予算（第4号）

**Q** 真栄城隆議員 畜産業経営安定支援事業費、2,700万円の説明を。国際情勢等で家畜飼料価格が高騰し、畜産農家の経営を圧迫する状況が続いていることから、家畜飼料購入経費の一部支援により畜産経営の安定化を図ることが目的で、令和7年4月から同年12月までに購入した配合飼料等に対して、一農家400万円を上限に、トン当たり4千円を補助する事業。

**A** 上西真理議員 観光振興管理費、交際費6万3千円の予算計上理由と使途内容を伺う。

**A** 本市観光PR活動のため友好都市や県外観光事業者等へ訪問した際に、地場産品を提供するためであり、本市の観光資源の一つとして地場産品をPRすることを目的としている。

**Q** 高屋優議員 高江洲中学校整備事業、設計業務委託料と施設借上料の補正内容を伺う。

**A** 設計業務委託料は、人件費高騰に伴う実施設計の増額、開発許可申請に伴う委託料分を計上しているが、外構設計を債務負担行為による執行に変更したため、令和8年度分を減額し、計上額は、570万3千円減額となっている。減額分は債務負担行為補正で令和8年度の限度額を変更している。施設借上料は、令和8年度から教室不足が見込まれるため、校舍整備期間中4教室を借上げる費用で、今回の補正増は、借上げ期間延長に伴うもの。

**Q** 平良一雄議員 放課後児童クラブ等性被害防止対策設備等支援事業、補助金170万円について伺う。

**A** パーテーションやカメラ設置等により、子供のプライバシー保護や支援内容の記録を行うための設備購入費用を補助する内容で、昨年度実施できなかった施設より補助活用の要望を踏まえた増額補正。

**Q** 議案第65号 石川中学校屋内運動場改修工事（建築）請負契約について

**Q** 金城加奈栄議員 契約の方法・指名競争入札及び審査評価を伺う。うるま市建設工事等指名業者選定委員会、選定された指名業者による入札で契約相手方を決定する方法で、同委員会において工事の種類、規模に応じた建設業許可、資格者が籍などを考慮し、委員会審議の上、決定している。

**Q** 国吉亮議員 指名競争入札における価格設定の仕方、根拠となる基準、価格設定は誰が行ったのか。国及び沖縄県の公共建築工事積算基準、沖縄県対象の営繕単価表及び物価資料、見積等を基に工事価格を算出し、予定価格が1億5千万円以上であることから、決裁権者である市長が予定価格を設定している。

**Q** 議案第66号 赤道小学校屋内運動場改修工事（建築）請負契約について

**Q** 金城加奈栄議員 指定避難所である当該屋内運動場改修工事において、空調設備も整備されるのか。本改修工事において、放送室・ピアノ収納庫の空調を整備する。

議案第83号 うるま市総合体育館整備運営事業に係る事業契約の締結について

**Q** 糸数昌宗議員 市内事業者への下請け・調達に関する発注割合や優先調達の規定は、契約書または実施工針で定めているか。

**A** 市内事業者への下請け発注割合は契約事項として定めている。物品等の市内優先調達は「優先交渉権者決定基準」において評価項目とし、事業者の率先的な取組を求めている。

**Q** 伊礼正議員 最優秀提案の選定から事業締結にかかる議案提出まで、わずか3か月間で追加議案として、性急になった要因は。

**A** 今定例会中の令和7年9月8日に仮契約を締結したため、速やかに事業を進めるために9月11日に追加議案として提案したもの。

**Q** 宮城一寿議員 民間資金等の活用金額と返済について説明を求めらる。

**A** 民間資金の活用金額は約10億6,955万円、施設完成後16年間の維持管理・運営期間に割賦払いで返済する。

**Q** 天願こうや議員 構成員と協力企業との役割、本施設等の光熱水費は実費精算とし、市が負担するとして理由を。

**A** 特別目的会社から直接業務を受託または請け負う者のうち、同会社に出資する者を構成員、出資しない者を協力企業としている。光熱水費は、計画段階における見積りが難しいことから、新体育館完成後の5か年度を実費精算するものとした。

## (令和7年9月第184回定例会)

議案第83号「うるま市総合体育館整備運営事業に係る事業契約の締結について」

## 【概要】

契約の方法…公募型プロポーザル方式による随意契約

契約相手方…株式会社うるま共創PFI

契約金額…約207億円

契約期間…本事業契約の締結日から令和7年3月31日まで

整備から40年以上たつ具志川総合体育館について、施設の老朽化や耐震性能が十分ではないという課題があり、また公共スポーツ施設として、多様化・高度化するスポーツ環境のニーズへの対応や、近年多発している大規模災害への対応を求められている状況があります。こうした背景を受け、本事業ではうるま市総合体育館の設計・建設及び維持管理・運営と、具志川総合運動公園内の既存体育施設及び公園施設の維持管理・運営をPFI法(BTO)に基づき実施するものであります。



整備後のイメージ図

## ▼反対討論

【國吉 亮 議員】

私は総合体育館設置の重要性は感じていて、これまで各イベント等で地域のにぎわいを創出。スポーツ大会や阪神等キャンプも行われ、経済効果も大。今回、防災機能を備えた施設整備として、命を守る役割も果たす。では、なぜ反対か。これまで本市では指定管理・業務委託は3〜5年契約で、まだ20年という契約実績がない。リスク、課題等不明なままの計画は慎重であるべき。今回、9月11日に議案提出、翌日に質疑。本来大型予算のため、しっかりと議論し内容を把握が必要。執行部に丁寧さを欠ける部分を感じる。再度議論し、提案・要望可能か詰めていくべき。さらに、今後日本は脱炭素社会へ。公共施設は、ZEB化を推進すべきだが今回申請しないとのこと。最後に、予算のうち、設計・工事・監理込みで市内へのお金が約51%維持管理で34%ということ。本来であれば、もっと大きな予算が本市にしっかりと落ちていく仕組みを作るべき。

## ▼賛成討論

【天願 こうや 議員】

現体育館は築40年以上が経過。老朽化し耐震性も不十分。安全性のため早急な再整備が行政の責務。新総合体育館は、大規模災害時には指定避難所として防災拠点となる。非常用発電機や断水時対応設備も備え、長期避難生活が可能。災害が懸念される昨今市民の命を守る拠点整備は喫緊の課題。今回PFI方式を採用し、民間の力を活用。結果、行政直営と比べ全体で約2億4千万円の縮減効果がある。市民サービスの質を高める合理的な選択。市民の健康づくりの場、地域交流とにぎわいの拠点、スポーツコンベンションの誘致による経済効果も期待され、地元企業の参画や雇用創出にもつながる。「精査が不十分」との声もあるが、本事業は平成31年の基本構想、令和4年の基本計画、令和5年の基本設計と、長年議論と準備がされてきた。老朽化が進む今、

先送りは市民を危険に晒し、責任ある判断とは言えない。

## ▼反対討論

【伊盛 サチ子 議員】

第一に本公募には最終的にグループのみ参加。競争がなく、果たしてこの約207億円の契約は妥当か。また審査評議懸念事項についても確認をするというだけで解決策が不明。第二に民間資金の活用としてSPC特別目的会社により約10億円調達としているが、具体的内容は不明。PFIの手法でも市はサービス対価で民間事業者に指定管理料(16年間)約43億9千万、年額2億7千6百万の割賦払いが生じる。第三に長期契約であるため昨今の急激な物価高騰、経済動向や市場の変動により契約の追加なども。市の財政負担の増大や市民負担につながる。第4にPFI事業は大和総研研究員によると、「公共施設へのビジネス機会を得る方法」と解説。PFIのリスクは様々あるが特に事業収益が上がらない場合、事業者の倒産、撤退も懸念。建設から維持管理期間を含めると20年間。民間との長期契約において安定した事業運営が可能か予測できない。一定のリスクが発生すれば当然その責任は行政が負う結果につながり、市民への財政負担への影響は避けられないのでは。

## ▼賛成討論

【高屋 優 議員】

本件は、令和4年からの様々な計画、令和6年の公募を経て今日に至った。その間、執行部からは、丁寧に事業者募集及び選定の日程の提案があり、随時質問を受け付け、契約に至るまでの様々な手続きを経て、本件を上程している。我々は議会で本PFI事業の実施に係る各種歳出予算、事業者公募に先立つ債務負担行為約207億についても可決してきた。以上を踏まえ、次の5点を評価する。1点目、従来の手法と比べ、PFI方式による民間資金ノウハウを活用し、費用圧縮と平準化を図っていること。

2点目、当施設を指定避難所、防災拠点として位置付け、低海拔地域が多い本市において、最大2千人受け入れ。中長期の避難生活にも対応可能な体制整備を図っていること。3点目、約63億円の起債については、交付税措置の高い有利な地方債を活用し、高還元率の財源構成により、実質的負担の最小化を図っていること。4点目、需要変動による収入の上振れが生じた場合は、指定管理料を減額調整できる仕組みを契約に明確化。さらにイベント開催等を通じ、地域との連携で、経済波及効果の拡大を企図。5点目、設計・建設・工事監理業務の発注総額の約51%。維持管理運営に係る34%を市内事業者が発注、調達することで、雇用の維持・創出と市内経済の循環を促進。以上5点を鑑み、事業遂行の透明性や地域経済への還元、さらに将来負担の抑制を図る観点から賛成。

## ▼反対討論

【下西 真理 議員】

老朽化による建て替えは喫緊の課題。多額の資金を伴い、地元企業の強みを生かした事業展開が十分な審議の上、契約締結すべき。議員である以上、事業や予算の妥当性を鑑み、判断する責任がある。一つ目は、一定の債務負担行為に伴い、今後、将来的負担が発生する点。二つ目は、資格審査通過2グループのうち一つが辞退し、比較検討されていない。資産評価の最低条件は、80点満点中40点以上だが、今回のグループは43.664点。最優秀評価に値するには基準を大きく上回るべき。3点目は、採用グループの維持管理業務は勝連城跡周辺整備事業と同じ県外企業である。地元への発注はたった34%。PFIでは、資金力が乏しい地元は協力企業の立場で発注を受け、結局は下請けである。建設は県外の企業であっても、長期にわたる維持管理は、せめて市や県内の企業でもノウハウ・能力は備わっている。今回のアリーナは市民利用が中心だが防災の施設であることから、災害・



## 本会議での主な討論

有事にも十分備えた施設でなければならず、備蓄量も懸念する。平時は市民の健康や憩いの場として管理し、災害や有事には、市民の命を守る施設として、地元企業が管理すべき。全力で計画を重ねてきた皆様方の思いを完成させ、50年後にバトンを託さなければならぬ。

## ▼賛成討論

## 【池宮城 善伸 議員】

現体育館は老朽化が進み、スポーツ活動や学校行事、防災拠点としての役割にも深刻な影響を与えている。2034年に国民体育大会の開催が予定され、県も国体誘致を正式に表明。本事業は国体に向けた競技環境の整備、市民スポーツ振興、全国からの来訪者を迎える体制づくりにも直結。また、従来の公共工事においては、以前から市外業者が落ちし、地元企業の参加機会が限られてきたが、今回のPFI手法の導入により、地元が参画しやすい仕組みが整備されている。さらに、設計・建設から維持管理運営までを一体的に行うことで、従来の手法と比べて約2億4千万円の財政圧縮と試算。市民の貴重な税金を効率的に活用しつつ、質の高いサービスを長期に安定して提供可能と意味する。もちろん、長期契約に伴う財政負担については、十分な注意が必要だが、民間のノウハウを活用することで、効率的な施設運営が可能で、安定した公共サービスの提供につながると確信。なお、提出時期について、急との意見もあるが、基本協定締結後の確認事項の合意が8月25日まで必要であり、その合意内容を踏まえて、9月1日に防衛省へ補助金の交付申請を行い、9月4日には速やかに交付決定がなされた。国からの財源確保を裏付けた上で、議案提出に至ったことは市民負担軽減のため不可欠で適切な手続きであった。本市の未来を見据え、子供から高齢者までの幅広い世代が集い、誇りを持って利用できる総合体育館の整備は、決して先送りできない課題である。

## ▼反対討論

## 【宮城 一寿 議員】

本議案は、追加議案として一般質問通告締切日以降に提出された。今年に入ってから一般質問締切後の追加議案として、一つ目、勝連城跡周辺指定管理の契約、二つ目に、新石川調理場整備運営事業に係る事業契約。そして今回の契約である。高額な契約は臨時議会を開いて、十分に慎重な審議を図る必要がある。私が反対する理由は、契約相手先が、令和7年8月に設立された実績のない会社であり、会社の事務所の表示がない。行政からも社員数はゼロとの答弁があった。私が思うには、実績のない幽霊会社ではということも考えられる。具体的な雇用人数も想定されておらず、相手先との契約詳細も示されていない。果たして、莫大な予算、長きにわたる契約を、このようなわずかな審議で可決してよいのか。我々議員には、行政の予算執行をチェックする役割がある。このような予算審議のやり方は行うべきではないという観点から反対。

## ▼賛成討論

## 【真栄城 隆 議員】

今事業は入念な準備、計画的段階を経て実施。現体育館は建設から44年が経過、雨漏り等の老朽化が激しく、利用者は不便な状況。また、耐震性不十分など、早急な建て替えが必要。そのため、昨年4月、体育館整備運営事業実施方針が公表され、民間資金、経営能力、技術力を活用したPFI事業として実施が決定。議会での提案は、当初から予定通りの締結である。性急な決定との声があるが、昨今の建築単価高騰と、完成を待つ市民、とりわけ小中高校生の声を聞くと、よりスピード感を持って進めるべき。さらに、防災機能強化を図れる体育館、中長期の避難生活約2千人収容できる大規模避難施設になる予定。空調稼働のできる非常発電機の設定、トイレ機能の確保等、災害が恒常化する昨今、早急な防災拠点機能を備えた総合体育館が必要。代表企

業の沖縄セルラー電話株式会社は、情報通信技術に関し県内リーディングカンパニーであり、市民へ質の高いサービス提供が期待できる。計画的かつ丁寧でより効果的な維持管理運営を実現する施設の契約である。

## ▼賛成討論

## 【國場 正剛 議員】

まずSPCは共通の目的を達成するために一時的に連合する組織体であり、これは決して幽霊会社ではない。40年以上にわたり、市民に親しまれてきた現体育館を、時代に合ったスポーツ・防災・交流拠点へと整備することは、本市の将来を見据えた重要な事業である。また、事業手法は、複数方式を比較検討し、PFI方式を採用することで、民間の資金、創意工夫、技術力を最大限に活用し、効果的な整備運営を実現するもの。結果、期間全体を通じた市の財政負担額が現在価値換算で約2億4千万円削減の見込みであり、将来の財政健全化にも資する。さらに、今契約は、事業契約書や要求水準書、モニタリング体制など、透明性と説明責任確保の仕組みが整備。優先交渉権者の選定も、学識経験者を含む委員会による厳正審査を経ており、適切性は十分に担保。一部反対の立場からは、十分な精査時間がなかったとの意見もあるが、本事業は、平成31年の基本構想、令和4年の基本計画、令和5年の基本設計業務と、段階的に検討されてきた。また、令和7年6月中旬に優先交渉権者の決定及び公表もされ、決して拙速な提案ではなく、むしろ市民や関係団体の意見も踏まえ、長年の議論と準備を経て、ようやくここに議会として判断をする段階に至ったものである。審査の時間がないという理由で立ちどまるのではなく、市民の安全と未来への投資という観点から、今まさに決断すべきときである。

## ZEB「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」

の略で、簡単に言うと「エネルギーをほとんど使わない建物」を目指す取組です。建物運営には、電気やガス等のエネルギーが必要ですが、それを極力減らし、効率よく使うことで、エネルギーの消費量と自分で作るエネルギーの量をほぼゼロにすることを目標にしています。具体的には、省エネルギー設備の導入、断熱性能を高めるなど、エネルギーのムダを減らします。そして太陽光発電などを設置して、足りないエネルギーを自分で作ることで、外部からのエネルギー供給を少なくする仕組みです。

## PFI主に公共施設やインフラの整備を、民間企業の資金やノウハウを活用して行う仕組みのことです。

普通は、学校や病院公園などの公共事業は、国や自治体が直接お金を出して進めます。ですが、PFIでは民間企業が事業を計画・運営し、国や自治体が協力する形で進めます。目的は、民間の効率的な運営やアイデアを生かすことで、質の高いサービスを提供し、コストを削減することです。

## SPC特別目的会社のことで、特定の事業のために、複数の民間企業が出資して設立する会社のことです。

SPCは企業連合体から独立した法人格を持ち、PFI事業の資金調達や、設計、建設、維持管理、運営などの事業全体を担います。これにより、連合企業の別事業における経営リスクを切り離し、安定した事業運営が可能となるため、PFI事業においては一般的に用いられます。

# 公表します！！議案の賛否

議案（全会一致を除く）に対する議員の賛否一覧（令和7年9月第184回定例会）

議案 番号	件 名	議決 結果	かけはし					新政クラブ		希望のいぶき		津 梁			与開之会		うるま 市民クラブ			日本 共産党		無 所 属										
			大 城 直	池 宮 善 伸	幸 喜 政 哉	玉 元 哉 世	比 嘉 直 人	平 良 一 雄	糸 数 昌 宗	高 屋 優 弘	眞 壁 朝 孝	仲 程 亮	国 吉 尚	又 吉 良 太	山 城 良 明	伊 波 良 一	神 田 正 剛	國 場 勝	下 門 勝	天 願 こ う や	天 願 久 史		藏 根 武	兼 本 光 治	佐 久 田 悟	伊 波 洋	伊 礼 正	上 西 真 理	宮 城 一 寿	伊 盛 サ チ 子	金 城 加 奈 栄	眞 栄 城 隆
認 定 第 1 号	令和6年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定 19：10	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	
議 案 第 51 号	令和7年度うるま市一般会計補正予算（第4号）	可 決 20：9	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○	
議 案 第 52 号	令和7年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決 27：2	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
議 案 第 53 号	令和7年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決 27：2	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 案 第 71 号	うるま市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可 決 27：2	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 案 第 77 号	うるま市立体育施設条例の一部を改正する条例	可 決 27：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
議 案 第 83 号	うるま市総合体育館整備運営事業に係る事業契約の締結について	可 決 19：10	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	

※議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 不：不在

令和7年9月第184回うるま市議会定例会 議決結果				
議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
認定第1号	令和6年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について (歳入 79,852,575,367円 歳出 76,715,103,405円 差額 3,137,471,962円)	市 長	令和7年10月2日	認 定
認定第2号	令和6年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入 16,062,774,782円 歳出 15,739,983,891円 差額 322,790,891円)	〃	〃	〃
認定第3号	令和6年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入 11,907,669,688円 歳出 11,682,865,925円 差額 224,803,763円)	〃	〃	〃
認定第4号	令和6年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について (歳入 1,530,934,068円 歳出 1,526,006,197円 差額 4,927,871円)	〃	〃	〃
認定第5号	令和6年度うるま市沖縄県消防通信指令施設運営協議会事業特別会計歳入歳出決算認定について (歳入 1,543,907,992円 歳出 1,543,907,992円 差額 0円)	〃	〃	〃
認定第6号	令和6年度うるま市水道事業会計決算認定について	〃	〃	〃
認定第7号	令和6年度うるま市下水道事業会計決算認定について	〃	〃	〃
報告第21号	令和6年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃	令和7年9月11日	報 告
報告第22号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第23号	放棄した債権の報告について(土地貸付収入金) (放棄した額:337,641円)	〃	〃	〃
報告第24号	免除した債権の報告について(生活保護費返還金) (免除した額:1,735,238円)	〃	〃	〃
報告第25号	放棄した債権の報告について(生活保護費返還金) (放棄した額:15,058,894円)	〃	〃	〃
報告第26号	放棄した債権の報告について(児童扶養手当返還金) (放棄した額:1,332,390円)	〃	〃	〃
報告第27号	放棄した債権の報告について(幼稚園保育料等) (放棄した額:229,900円)	〃	〃	〃
報告第28号	放棄した債権の報告について(不当利得返還金) (放棄した額:1,126,492円)	〃	〃	〃
報告第29号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第30号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第31号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
承認第5号	専決処分の承認について(令和7年度うるま市一般会計補正予算(第3号)) (補正額:386,500千円 補正後の予算:84,912,724千円)	〃	令和7年10月2日	承 認
議案第49号	令和6年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃	原案可決
議案第50号	令和6年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃	〃
議案第51号	令和7年度うるま市一般会計補正予算(第4号) (補正額:3,045,077千円 補正後の予算:87,957,801千円)	〃	令和7年9月24日	〃
議案第52号	令和7年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (補正額:199,836千円 補正後の予算:16,260,487千円)	〃	令和7年10月2日	〃
議案第53号	令和7年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (補正額:6,890千円 補正後の予算:1,643,015千円)	〃	〃	〃
議案第54号	令和7年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第2号) (補正額:276,173千円 補正後の予算:12,296,197千円)	〃	令和7年9月24日	〃

# 第82号

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第55号	令和7年度うるま市水道事業会計補正予算(第1号)	市 長	令和7年 9月24日	原案可決
議案第56号	令和7年度うるま市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃	〃
議案第57号	宮城・伊計辺地に係る総合整備計画の変更について	〃	令和7年 10月2日	〃
議案第58号	中部広域市町村圏事務組合の規約の変更について	〃	〃	〃
議案第59号	指定管理者の指定について(うるま市宮城島介護保険地域密着型サービス施設) (指定する団体:合同会社アユマ 指定期間:令和7年10月1日から令和13年9月30日まで)	〃	令和7年 9月24日	〃
議案第60号	建物明渡等請求事件の和解について	〃	令和7年 10月2日	〃
議案第61号	訴えの提起について(土地明渡等請求事件)	〃	〃	〃
議案第62号	うるま市市道路線の廃止及び認定について	〃	〃	〃
議案第63号	物品の取得について(防火衣一式) (契約金額:67,980,000円 契約の相手方:有限会社新垣産業)	〃	令和7年 9月24日	〃
議案第64号	物品の取得について(沖縄県消防指令センター備品購入事業(什器)) (契約金額:21,406,000円 契約の相手方:有限会社昭和事務機社)	〃	令和7年 10月2日	〃
議案第65号	石川中学校屋内運動場改修工事(建築)請負契約について (契約金額569,723,000円 契約の相手方:琉幸建設(株)・(株)幸石建設・(有)南宮工業 建設工事共同企業体)	〃	〃	〃
議案第66号	赤道小学校屋内運動場改修工事(建築)請負契約について (契約金額:461,472,000円 契約の相手方:(有)新秀建設・(有)大我組・(株)喜神サービス 建設工事共同企業体)	〃	〃	〃
議案第67号	うるま市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	〃	令和7年 9月24日	〃
議案第68号	うるま市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第69号	うるま市議会議員及びうるま市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	〃	令和7年 10月2日	〃
議案第70号	うるま市税条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第71号	うるま市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第72号	うるま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第73号	うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第74号	うるま市印鑑条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第75号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第76号	うるま市IT事業支援センター条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第77号	うるま市立体育施設条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第78号	金武町とうるま市との間におけるし尿及び浄化槽汚泥受入施設の共同整備等に関する事務の委託に関する協議について	〃	〃	〃
議案第79号	恩納村とうるま市との間におけるし尿及び浄化槽汚泥受入施設の共同整備等に関する事務の委託に関する協議について	〃	〃	〃
議案第80号	嘉手納町とうるま市との間におけるし尿及び浄化槽汚泥受入施設の共同整備等に関する事務の委託に関する協議について	〃	〃	〃
議案第81号	読谷村とうるま市との間におけるし尿及び浄化槽汚泥受入施設の共同整備等に関する事務の委託に関する協議について	〃	〃	〃
議案第82号	訴えの提起についての議決内容の一部変更について	〃	〃	〃
議案第83号	うるま市総合体育館整備運営事業に係る事業契約の締結について (契約金額:20,764,589,310円 契約の相手方:株式会社うるま共創PFI)	〃	〃	〃
発議第7号	うるま市ホワイト・ビーチ沖米海軍揚陸艦火災についての意見書	基地対策特別委員会 委員長 國場正剛	令和7年 9月24日	〃
発議第8号	うるま市ホワイト・ビーチ沖米海軍揚陸艦火災についての抗議決議	〃	〃	〃
発議第9号	米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する意見書	〃	〃	〃
発議第10号	米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する抗議決議	〃	〃	〃
発議第11号	うるま市議会会議規則の一部を改正する規則	議会運営委員会 委員長 大城 直	令和7年 10月2日	〃
発議第12号	うるま市議会委員会条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
陳情第51号	県産品の優先使用について(要請)	—	〃	採 択



9月19日から9月30日の7日間、9月定例会における一般質問が行われ、29人の議員が質問しました。

今回は「教育・福祉の充実や子育て支援」「道路・公園・排水路等の整備」「文化・観光振興」「消防・防災行政」など、市の一般事務に対して質問がありました。

## 市政に反映

## 皆さんの声

掲載文は、各議員の質問と執行部の答弁を簡略にしたものです。実際には多岐にわたる内容となっています。  
各議員の真剣な質問と執行部の誠意ある答弁は**録画中継**をご覧ください。



録画映像  
トップページへ



議長 ひが なお と  
**比嘉 直人**

『一般質問』は、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、質問を求め、又は疑問をただすことをいいます。

## 一般質問



おく  
やみ

こう き いさむ  
**幸喜 勇** 議員（かけはし）

## おくやみワンストップ窓口の設置について提案

答弁…協議を進めて、次年度の当初予算への計上へ努めたい



道路整備の進捗状況と今後の整備計画

◎仲嶺地区の具志川環状線県道224号線について。

△（名嘉真都市建設部長）令和6年度の工事は令和7年6月末に完了。令和7年度は用地補償残り1件が契約済み。8年度に補償工事、9年度以降に道路改良工事を予定。

◎丸中商会裏手の市道喜屋武4・3号線について。

△令和7年7月に整備完了して供用を開始。

◎大田区の市道川田5・23号線について。

△令和7年7月に工事発注し、年度内の完成を目指す。浸水被害軽減のため、排水路の整備も道路改良工事に併せて行う。

◎交通安全規制には、きちんと白線を管理することとも道路管理者の責務である。県公安委員会や道路管理者に強く要望してほしいが見解を伺う。

△（松岡市民生活部長）教育施設の周辺や交通量の多い交差点などを最優先に改善するよう県公安

委員会と道路管理者に対して強く要請していく。

若年ママ運転免許取得支援

◎母子世帯になった若年ママに運転免許を取得させ就労につなげる支援をすることで生活保護になりにくい環境になると思う。母子の保護世帯でお子さんが成人するまでの20年分の保護費を計算すると1世帯当たり約2,964万円。担当課の考える事業スキームでの1人当たりの予算年額は約123万円になるが、若年ママ運転免許取得支援をすることで厳しい環境にある母子世帯の自立に向け取り組みことは、予算としては大変効果があり本市の今後の財政状況にも影響があると思うが市長の見解を伺う。

△（中村市長）法律でない支援内容は優先順位さらには財政等も考え、その内容を検討した上で対処等をしていく。



いとかず まさむね  
**糸数 昌宗** 議員（新政クラブ）

## 船舶の安全な航行と漁業者の生活を守るために早急な浚渫を

答弁…中部土木事務所に対して早急に強く要請していきたい



**石川  
漁港**



### 港区赤崎集会所のトイレ

◎男性用は和式、女性用は洋式となっており男性の方が和式の利用に支障を来している。誰もが安心して利用できるトイレ環境を整備することは、市として当然の責務であるとするが、現状をどのように認識しているのか。

◎A（田場都市建設部参事） 今回のような改修等の費用負担については、現在進めている協定書の見直しの中で、関係部署と協議を重ねて検討していきたい。

### 沖縄諮詢会堂跡

◎指定文化財の維持管理事業の一環として嘉手苅観音堂の整備がされた。この事業の枠組みをもって、沖縄諮詢会堂跡の整備も可能なのか。仮に、現行制度では難しい場合、どのような方策を講じれば保存・整備が実現できるのかの具体的な道筋について。

◎A（嘉手苅教育長） 沖縄諮詢会堂跡の整備については、嘉手苅観音堂を整備した一括交付金や文化庁の補助などの活用について、関係部署と協議していきたい。

### 学童保育指導員の処遇改善

◎学童保育指導員の給与、処遇改善に向けた独自の支援策や国・県への働きかけについて、どのように考えているのか。

◎A（諸見里こども未来部参事） 放課後児童健全育成事業の人員費に係る補助単価を国が増額見直しを行ったことを踏まえ、本定例会では放課後児童健全育成事業の補正予算を提案している。

◎その他「精神疾患で休職の教員」「体育館空調導入」「石川庁舎前駐車場」「渡口公園」等について質問しました。

**温泉  
施設**

ま か べ あ さ ひ ろ  
**真壁 朝弘** 議員（新政クラブ）

## 石川インターチェンジ周辺に温泉施設と無料足湯の建設を

答弁…観光客のニーズあり。民間開発前提で行政支援を検討



### 避難所締結の提案

◎石川255号線に建設中の14階建マンションを災害時の避難所として活用可能か。

◎A（大田防災広報対策部長） 避難所として活用できる可能性は十分あるが、実際に災害協定を締結できるかは今後調査・研究を行う。

### 石川庁舎駐車場の試験的開放

◎石川庁舎駐車場の試験的開放の成果と課題、今後の展望について。

◎A（金城企画部長） 約一か月間石川庁舎駐車場の夜間開放を行った。市民・飲食店からは継続を望む声があるが周辺飲食店への誘客促進にどの程度寄与するか、放置車両やごみの不法投棄対策等の課題と対策について検証し今後の活用方法を検討していく。

### 山城体育館老朽化のための取壊し

◎山城体育館老朽化による取壊しの進捗状況、取壊し後の土地の使用目的について伺う。

◎A（松岡市民生活部長） 令和7年度に解体設計を実施し、8年度には解体工事を予定。取壊し後の土地利用については行政目的での利活用を検討し、見込みがない場合は利用目的を踏まえ売却や貸付を検討。

◎今後の土地利用の方向性については地域住民の意見を踏まえ進めていく必要がある。山城自治会との意見交換の予定は。◎A（島袋財務部長） 現時点では山城自治会との意見交換予定はないが、地域の意向も考慮しつつ多角的な視点で総合的に判断していく。

◎その他「石川漁港のスロープ修繕工事」「石川川沿いの歩道舗装」「石川103号線の整備」について質問しました。

たかや ゆう  
高屋 優 議員 (新政クラブ)宿泊税をDMO人材育成等  
観光振興に活用すべきでは答弁…宿泊税の使途は県の動向を  
踏まえつつ今後の検討課題観光  
戦略**観光を稼ぐ産業へ  
DMOで地域経済好  
循環を**

◎昨年度、外国人観光客誘致のため3千万円規模の事業を行ったが、その効果をどう見ているか。本市の観光は点での取組が多く、データ分析や収益化が十分でないと考え。アンケート調査も外部委託や関連団体と連携して実施しているとのことだが、観光客の動向を正確に把握する仕組みは不足している。私は、観光を地域の生産活動に稼ぐ産業と捉え直し、行政主導ではなく民間主導の観光司令塔「DMO」の設立を強く求める。DMOがデータ収集と分析に基づき、周遊ルートや商品開発、プロモーションを行えば、滞在時間と消費額の増加につながる。さらに、看板の統一、スポンサーシップ誘致、特産品開発、勝連城跡のPR強化なども同時進行で、市全体のブランド力を高め、観光を地域経済の好循環へとつなげるこ

とが可能。当局の見解を伺う。

▲(岸本経済産業部長) 事業は観光庁補助金を活用し民間と連携した実証であり、今後効果検証していく。これまで収集した居住地や年齢層、人流データ等を活用してきたが、収益化への展開は今後の課題である。観光事業者間の連携も一部進んでおり、機運醸成や環境づくりを進める必要がある。議員提案のDMOは観光で稼ぐ地域づくりと同じ方向性であり、まずは事業者や関係団体と議論を深め、早期に検討していく。

※その他「具志川メインシティを中心とした江洲地区及び赤道地区における冠水対策」「部活動の県外派遣費補助拡充に向けて」「高江洲中学校校舎建て替え」「こども医療費受給資格者証のオンライン化に向けて」について質問しました。

かみだ よういち  
神田 洋一 議員 (津梁)道路  
買上市道の拡幅計画を信じ、待ち  
続ける地権者の不安に対して答弁…当該道路内の未買収用地は  
認識、着実に用地取得を進める**未買収道路用地**

◎未買収道路の全解決に長い年月を要するが市の計画を信じ待つ市民のため、現状のペース維持は最善の策と考えるか。市の政治姿勢と予算の工夫を問う。

▲(名嘉真都市建設部長) 限りある予算だが「里道の売り払い」を基金とし未買収用地取得を推進する。天願1・28号線の拡幅予定はない。地権者には迷惑をおかけしているが、未買収用地取得に向けて着実に事業を推進するので理解いただきたい。

**自治会支援**

◎自治会加入率改善のため、転入時の声かけや申込受付、WEBフォーム等の仕組みと、成果を上げた自治会への助成金創設を提案。市の見解は。

▲(松岡市民生活部長) 転入時の声かけは待ち時間増加の懸念があり困難。WEB受付等の提案は、自治会が主体的に取り組むなら側面支援を検討する。

討する。加入率向上への新たな助成金創設は、年間2億円超の支援を実施しており困難。長期的課題として調査・研究したい。

**エイサー**

◎後継者不足や練習時の騒音問題など、青年会が抱える複合的課題への市の見解は。

▲(中村市長) 騒音問題は地域全体で青年会を支える雰囲気づくりが大事。ルールを設けピラを配る等、丁寧に理解を求める活動が重要。市としても支援を考えたい。

**人と猫が幸せに暮らせるまちを目指して**

◎協働のため推進連絡協議会を設置しては。

▲(松岡市民生活部長) 協力は重要だが市主導の協議会は設置せず、個別に対応する。

※その他「宇堅2・88号線の排水路整備」について質問しました。



くによし りょう  
**国吉 亮** 議員（希望のいぶき）

## 今後は石川市民プール周辺に 夜間駐車場を設置すべき

答弁…商店街の波及効果を見込める  
ものとして大切と考えている



**要望**



### 石川庁舎における夜間駐車場設置の要望

Q 石川地域まちづくり推進計画において、石川庁舎周辺における公共駐車場は必要と考えるが。

A（金城企画部長） 石川庁舎周辺は、エリア一帯に多くの飲食店や社交街が集積し、地域のにぎわいを支える重要な拠点である。こうした地域の特性を踏まえ、石川庁舎周辺における公共駐車場の整備は、事業エリアに効果がとどまるものだけではなく、地域住民や観光客の利便性向上及び来訪促進による街中の回遊性向上を通して、ウォークアブルなまちづくりの形成と地域活性化に寄与するものと考えており、重要な機能の一つと捉えている。

Q 石川地域まちづくり推進計画の中で、飲食店に近い漁港周辺、石川市民プール周辺に駐車場を設置してほしい。

A 商店街の波及効果を見込めるものとして、大切なことだと考えている。



令和7年8月1日から令和8年3月31日まで、石川庁舎では夜間駐車が可能です。

### 市民からの声を問う

Q 令和6年度は山芋スーブ大会が開催されなかった。今年度は山芋スーブ大会を石川地域で開催してほしいが。

A（座喜味農林水産部長） 石川地区での開催については、関係者やJAおきなわ石川支店と協議をしているところである。

※その他「保育施設に従事する職員が安心して働ける環境づくり」「国際大会等出場者奨励事業」「教育行政」「選挙管理委員会に関連する事項」について質問しました。

こく ば せいごう  
**國場 正剛** 議員（津梁）

## 市職員の安全運転教育について伺う

答弁…講師を招いて、年1回安全運転講習を実施している



**安全  
運転**



### 中部衛生施設組合

Q 現状について。

A（松岡市民生活部長） 中部衛生施設組合が運営管理する長尾苑は、築44年が経過し老朽化が著しく、地震等による倒壊のリスクがある。そのため、一刻も早い新施設の整備が求められている。

Q 今後の整備計画について。

A 新たな施設整備を行うため、沖縄県協力のもと整備に向けた協議を進めている。

### 具志川野球場地盤改良工事

Q 一般市民が使用できる時期について。

A（岸本経済産業部長） 一般市民の利用は、来年4月以降となることを予定している。

### こどものスポーツ活動における県外派遣等補助金

Q これまでの実績について。

A（岸本経済産業部長）

令和6年度は349人、約1,499万円、令和7年度8月末現在、209人、約1,033万円の実績となっている。

Q 補助を受けて、県外派遣において優勝を成し遂げ、次年度の出場権を獲得した場合、次年度もこの補助金が活用できるか。

A 質問のケースは、補助の対象外である。

### 花卉消費拡大

Q 花卉消費拡大に向けた取組実績を伺う。

A（座喜味農林水産部長） 市農林水産まつりで盛花を市内花卉店舗に約5万円、計10店舗に依頼し、会場内で展示する企画を実施。また、観光・スポーツ課において、沖縄県花き園芸協会の事業である花き消費拡大市町村モデル事業の補助金8万円を活用し、プロスポーツキャンプ等における開会式典で贈呈する花束制作や会場でのフラワーアレンジメント展示を実施している。

いけみやぎ よしのぶ  
池宮城 善伸 議員（かけはし）

# 西原区公民館建設スケジュール、財源について

地域  
拠点



答弁…令和 10 年度実施設計、  
11 年度本工事予定で約 2 億 3 千万



## 公民館建設計画

◎西原地域では、公民館建設に向けて、令和元年7月から区民自ら積立金を徴収し、これまで約2,300万円、修繕費も含め合計3,000万円を積立てている。地域住民の努力は大変大きいと考える。今後物価高騰の影響で、見込みよりも事業費が増加する可能性がある。令和9年度の概算要求にどう盛り込むのか。

▲（松岡市民生活部長）約7年で約2,300万円の建設資金を積立てたことに對し、区民の方々に改めて敬意を表す。概算要求については、事業実施の前年5月までに申請するため、それまでに完成した自治公民館の建設実績を参考に算出した平米単価に物価上昇率を見込んで要求する。

◎公民館建設に向けて、委員会での話し合いや地域の祭りを通じての資金集めを行っている。地域の社会的情勢、財政面の変化によるスケジュールに影響を受けた場合はどう

のように対応するのか。

▲資金造成を理由とした財政計画の甘さによるスケジュール変更はあつてはならないものと考えている。

## あげな中学校環境整備

◎防球ネットの破損は、生徒の安全面だけでなく、市民利用における安全確保の観点から早急な対応が求められているが、修繕費用を確保しての対応と、併せて野球部バックネット周辺の高木伐採についても伺う。

▲（兼城社会教育部参事）施設修繕や環境整備対応のため、本議会の令和7年度うるま市一般会計補正予算（第4号）で増額提案している。



防球ネット修繕、補正予算で対応へ

## 社会 貢献



たまもと ちかせ  
玉元 哉世 議員（かけはし）

# 企業・事業主ボランティアの点数加算、会社の告知検討は

答弁…評価点は検討したい。  
広報活動で企業貢献を周知する



## 学校施設・教育施設の複合化

◎複合施設整備で財源圧縮、コミュニケーション形成にもつながると思うが。

▲（兼城社会教育部参事）世代間交流、維持管理費抑制など参考になる。全庁的に調査・研究する。

## 学校部活動

◎マーチング部の費用負担が大きい。練習可能な屋内施設がなく他市町村施設を活用している。市内での検討は可能か。

▲（岸本経済産業部長）石川体育館で中学校マーチングの利用申請があり受付した。

## 学校・公共施設等のLED化

◎LEDは電力削減で長寿命。電気料高騰も受けて更新を急ぐことが得策だが。

▲（島袋財務部長）電気料高騰対策として有効。早急に更新を進める必要がある。

◎自治会管理施設のLED化をどう支援するのか。

▲（松岡市民生活部長）市自治公民館建設等補助金交付要綱の活用を案内している。

## 防草対策

◎防草シート活用で人手不足対策と経費節減にならないか。

▲（名嘉眞都市建設部長）総合的に効果検証を行う。

## 新赤道ひまわり公園老朽化遊具・のり面

◎遊具設置、本市で人工芝施工の提案。

▲（名嘉眞都市建設部長）ひまわり公園遊具設置嘆願書を受理。人工芝は検討中。

## 新赤道・放置大型バス及び放置コンテナ

◎周辺に子供たちが集まり危険。現状は。

▲（名嘉眞都市建設部長）車両撤去が令和7年8月末に完了。



みやぎ かずとし  
**宮城一寿** 議員（うるま市民クラブ）

# まんまうるまクーポン券は島しょ地域も

答弁…津堅島へのフェリー運賃活用と個人商店利用を調整する



公平  
公正



字貞志川

Q 貞志川メモリアルパーク周辺は個人墓が多く、旧盆前墓掃除に支障があるが。

A (座喜味農林水産部長) 現場を確認した。支障が生じないように適切に対応していく。

上江洲・仲嶺地区  
産業基盤整備事業

Q 事業完了は令和27年、幹線道路整備は。

A (名嘉真都市建設部長) 令和8年度から物件補償・用地買収を進める予定。

勝連・平敷屋地区

Q 平敷屋小前の横断歩道道路標示整備は。

A (松岡市民生活部長) 歩道白線引き直しは警察署管轄で自治会の要請があれば進達。

Q 平敷屋195番地付近の側溝整備は。

A (名嘉真都市建設部長) 今年度より年次的に整備し、10月に工事発注予定。

島しょ地域の地区別課題

Q 津堅島での幼稚園児受入れについて。

A (諸見里こども未来部参事) 令和8年度の開設に向け取り組んでいる。

Q 津堅島の防災行政無線について。

A (大田防災広報対策部長) 年度内に新規設置完了予定。

Q 平安座島災害避難所・防災道路へのトイレ設置について。

A 移動式トイレ導入に向け調査・研究中。

Q 平安座認可地縁団体に

A (松岡市民生活部長) 平成28年3月10日付で規約を定め地縁団体を認可。

Q 規則違反の認可地縁団体活動は。

A 法令等違反の有無は議会後に聴取予定。

Q もずく種付けで伊計島と宮城島間は漁船が運航、漁民の安全操業支援は。

A (座喜味農林水産部長) 漁業関係者と砕石事業者間で協議。市の支援は考えてない。

基地  
行政

いもり さちこ  
**伊盛サチ子** 議員（日本共産党）

# 勝連分屯地への長距離ミサイル配備に反対する考えは

答弁…国の専管事項であり、コメントは差し控えたい



安慶名中央公園内の整備

Q ①木製トイレドア使用禁止箇所及び照明器具の修繕②休憩所屋根裏コンクリート剝離の迅速な対応を③側溝について再度事故発生の可能性もある蓋掛けグレーチングを設置すべきでは。

A (名嘉真都市建設部長) ①不具合箇所が複数あり修繕計画を立て対応する②立入禁止措置の強化や撤去も含め検討したい③財政確保に努めるとともに草刈り作業を実施していく。

道路行政

Q 勝連小学校周辺の市道や横断歩道の白線引き直しを。

A (名嘉真都市建設部長) 勝連3・2、3・5号線は令和8年度に区画線引き直し予定。

A (松岡市民生活部長) 横断歩道や停止線は重要で、県公安委員会に要請書を提出していく。

こども誰でも通園制度

Q 本格実施に向けて、受け入れる側、保育現場との協議、進展状況は。

A (諸見里こども未来部参事) 市の認可のほか、法人等の定款変更などの手続が必要。各保育施設へ事業継続や市と必要な協議等について説明し、実施施設が円滑に事業運営できるよう支援していきたい。

ニューオーリンズ  
火災事故

Q 艦船火災事故に伴い、再発防止の徹底を再度強く求めていくべきではないか。

A (中村市長) 機会があるときに再度申し入れていきたい。

てん がん  
天願 こうや 議員 (津梁)

# 外国人による違法農地利用で 地主が困っているが

安全  
危機



答弁…利用者が違法に利用しても  
責任は地主にある



【うるま市は2年連続で待機児童ゼロを達成し大きな成果を上げた。しかしその陰で小規模保育所が経営の厳しさに直面している。年度当初ゼロ歳児の入園が少なく定員割れが続き運営費の確保にも苦勞している現状がある。小規模保育は少人数で一人一人丁寧に保育が特徴で、これまで待機児童解消に大きく貢献してきた。にもかかわらず、入園選考では通常の保育園と同じ基準で扱われており、規模や特性を踏まえた評価がなされていない。この制度設計のままで小規模保育が不利な立場に置かれ結果として「選ばれにくい施設」になってしまう。今後は小規模保育の役割を再評価し、選考基準の見直しや経営支援、さらには魅力発信の強化など行政が積極的に関与していくべきと考えるが。

待機児童ゼロの陰で揺れる保育の現場



【避難所として指定されているが、日頃の活用がされておらず、万が一の時に機能するのが心配。日頃から利活用できるように立地にも優れた旧比嘉小学校で民間の力を生かしキャンプなどができないか。

眠る旧比嘉小学校を地域の力に

【(諸見里こども未来部参事) 認知度向上と利用促進を進めていく。

きんじょう か な え  
金城 加奈栄 議員 (日本共産党)

# 米海軍ドック型輸送揚陸艦 ニューオーリンズの機能は

答弁…多くの兵員や車両のほか、  
複数の輸送ヘリコプター収容可能



基地  
問題



【令和6年度中に63自治会に交付した総額は約1,387万円、1自治会への交付金額最高額は約29万9,000円、最低額は約14万4,000円、平均約22万円。

【市自治会運営振興補助金交付要綱、世帯別30円以内、防犯灯台数割900円以内と記載があるが、防犯灯1灯当たりの電気料金を伺う。

防犯灯設置維持費

【(名嘉真都市建設部長) 施設管理者である沖縄県中部土木事務所へ要請を行う。

津堅地区旅客待合施設内冷房設置等

【(金城企画部長) 住民ニーズも踏まえ、具体的な要望、需要量などの実態把握の調査を進め対策方針を検討していきたい。

【(金城企画部長) 受付で来場者からの減免申請に基づき観覧以外目的で使用する場合一部減免の対象としている。

津堅島の地域生活

勝連城跡周辺整備事業



佐久田 悟 議員（与開之会）

# 地域の憩いの場である与那城公園へ新規照明灯設置を

答弁…自治会の意見も参考に、財源確保も併せて検討していく



公園整備



**子育て支援、健診事業実施へ向けた取組**

Q 5歳児モデル健診事業への取組等を伺う。

A（上原こども未来部長）公立こども園3園で4歳6か月から5歳6か月の幼児30人を対象に12月に集団方式で実施予定。

**教育行政**

Q 5年間実施してきた学習者用タブレット端末、紛失、破損等の状況は。

A（鹿川学校教育部長）紛失8台、破損932件、故障3、142件。

Q 部活動地域移行の現状と今後の方針は。

A 中学校にある88の運動部活動のうち25の部活動で休日地域クラブ活動を展開しているが、全運動部活動が休日の地域展開できるよう取り組む。

Q 地域団体や民間スポーツクラブ等所属選手への県外派遣費補助の考え方を伺う。

A（岸本経済産業部長）学校所属外団体や民間クラブに属する個人でも、

市内に住所を有する18歳以下を対象に一人上限5万円の派遣補助を実施する。

Q 本市教育現場の防犯カメラ設置状況は。

A（鹿川学校教育部長）小・中学校の防犯カメラ設置状況は26校中14校で設置率54%。

**公園環境整備**

Q 与那城公園の防災公園指定への所見は。

A（大田防災広報対策部長）議員提言の与那城公園を含む市内都市公園の指定は他市町村の先進事例などを調査・研究する。

**防災行政**

Q 避難活動においてペトト同行避難訓練等への対応・取組を伺う。

A（大田防災広報対策部長）災害時における専用スペース確保トランプ防止や所有者責任による自己管理徹底など先進事例を調査・研究し関係部署と調整していく。

米艦火災



米艦火災

仲程 孝 議員（希望のいぶき）

# 市が求めた原因究明・再発防止策公表への今後の対応は

答弁…公表が見受けられない場合、関係機関へ改めて確認する



**定額減税補足給付金**

Q 給付制度そのものの周知方法の強化や詳細な説明を確実に展開すべきと思うが。

A（島袋財務部長）期限内に早めに手続きをしていただけるよう勧奨通知の送付や電話による呼びかけにも取り組む。

**市道兼箇所4-14号線交通危険性除去**

Q 道路中央へのポストコーン設置に向け、迅速に対応すべきと考えるが。

A（名嘉真都市建設部長）年度内で早めに対応していきたい。

**セレモニ-中頭周辺排水路**

Q 今後、排水路上流側においても堆積土砂しゅんせつ工事が必要ではないか。

A（座喜味農林水産部長）しゅんせつ工事の後、大雨時において現場状況を確認しながら、今後の対応について判断する。

**自治会に対する支援**

Q 自治会長連絡協議会からの要望書にある事務委託費増額について。

A（松岡市民生活部長）事務委託料の増額については大変厳しい。

Q 事務委託者の優秀な人材確保をする上でも、増額は必要だと考えるが。

A 事務委託契約の見直しだけでなく、事務委託要綱と自治会運営振興補助金交付要綱の統合など、抜本的見直しも検討したい。

**蛍光灯生産終了を受けて**

Q 自治公民館における蛍光灯照明からLED照明への交換について助成の考えは。

A（松岡市民生活部長）自治公民館建設等補助金交付要綱の活用を案内しており、事業費が100万円を超える増築、改修または修繕は250万円を上限とする事業費の2分の1以内の額を補助している。

ま え し ろ た か し  
**真栄城 隆** 議員（無所属）

## チャイルドサポートとの事業提携、市長の期待することは

答弁…大変すばらしい事業。我々も将来的に携わっていききたい



**養育費**



### 健康と医療

Q 大腸がん受診率9.4%を改善すべき。自己負担無料とすべきと考えるが。

A (古謝市民生活部参事) 沖縄市では個別検診650円、集団検診無料、本市で無料とした際の受診率向上や将来的な医療費抑制効果を調査・研究したい。

Q 若年がん患者の在宅サービス利用について、県は介護保険制度の対象外の40歳未満のがん患者に対し、在宅サービス等の費用を助成する市区町村の取組を支援している。本市の取組は。

A 他市の実施状況、他の関係機関等を調査しながら、今後、研究していきたい。

### 慰霊の日

Q 沖縄全戦没者追悼式に、独居世帯の方や高齢者ドライバーの方のため、市役所発のバス運行をぜひとも実施し、式典参加希望の便利が図れないか。

A (大田防災広報対策部長) 関係部署で意見交換を行い、庁内で検討したい。

### 農業

Q 農地を宅地として活用したい問合せが数多くあるが、転用希望件数は。

A (田場農業委員会事務局長) 令和4年度284件、5年度320件、6年度251件、平均で年間300件弱の申請がある。

### 高等教育の就学支援制度

Q 高校の進路指導室と連携を強化し、情報の共有と発信、選択の拡大を図るべき。

A (嘉手苅教育長) 市と県とで重複する可能性もあり、業務の効率面からも整理が必要。学校現場も、情報発信元は統一的に行われる方が生徒、保護者が活用しやすいことから、周知は事業を所管する県が一元的に担うほうが効率的である。必要であればできる限り協力を行いたい。

しも しょう ま さ る  
**下門 勝** 議員（津梁）

## 道路等の地下空洞調査に電磁波レーダー調査を導入せよ！

答弁…本市に合った調査方法を検討していきたい



**調査手法**



### ヤングケアラーに関する事項

Q ヤングケアラー等の支援を確実に行うためには「ヤングケアラー等支援条例」の制定が有効であり、条例において市の責務、市民や事業者、関係機関、学校等の役割を明確にするとともに、財政上の予算措置を定めることで、しっかりとした支援体制を構築することが可能になる。そこで条例制定について所見を伺う。

A (上原こども未来部長) 必要性について慎重に検討していきたい。

### 防災及び災害対策に関連する事項

Q 防災ヘルメットや防災頭巾の有効性は認識されつつも財源や保管、管理方法に課題があり整備には至っていない。そこで提案だが、企業版ふるさと納税を活用し、現在未整備である防災ヘルメットや防災頭巾等を物納の形で納めてもらい整備が可能ではないかと考える

が所見を伺う。

A (岸本経済産業部長) 企業版ふるさと納税マッチング支援業務を通じたアプローチは可能であると考えている。

### 薬物乱用等に関連する事項

Q 沖縄県でも笑気麻酔に含まれる国内未承認の医薬品成分エトミデート（通称ソニビたばこ）乱用などの摘発事例が後を絶ちません。本市でも薬物乱用の実態を早期把握し、未然防止につなげるためアンケート調査による情報収集が有効だと考える。そこで、アンケート調査の実施を検討すべきと考えるが所見を伺う。

A (松岡市民生活部長) 関係機関と連携するなど調査・研究していきたい。

A (鹿川学校教育部長) アンケート調査ではないが、未然防止に対する意識を高める取組や気になる情報の収集も行っている。



い は ひろし  
**伊波 洋** 議員（うるま市民クラブ）

# 市が利活用している私有地の件数について

答弁…未買収用地の筆数4,005筆、  
面積129,000㎡



未買収地



市が利活用している私有地

うるま市の海洋資源活用

- Q 毎年度予算措置し継続的な未買収道路用地取得したいとあったが、年度ごとの予算額や未買収道路用地の筆数を伺う。
- A (名嘉眞都市建設部長) 毎年度の当初予算で、約2千万円。筆数で10から15筆。
- Q 年に20筆購入しても、4,005筆の購入に200年かかる。市長も市民の生命・財産を守るという言葉を出しながら市民の財産を200年も使うことになれば、とんでもない話。市が利活用している私有地の契約件数について伺う。
- A 令和7年8月現在442筆、面積約1万3,881㎡。
- Q 試算で40億と思う。市債発行、基金を活用し買い上げできないか。計画を伺う。
- A 未買収用地の取得は、旧4市町の路線に対し優先順位をつけて対応している。
- Q 島しょ地域・北東部海域のサンゴ礁群落の調査を実施しているか伺う。
- A (岸本経済産業部長) 県のサンゴ礁保全・再生総合対策事業で本市も委員として参画し、地域事業者や自治体と連携して意見交換を行っている。
- Q サンゴ群落の海洋資源活用事業計画にて資源を生かす計画はあるのか。
- A 市内事業者に養殖サンゴ観察会とみずく収穫体験をセットに一般ダイバー向けモニターツアーを実施。持続可能な資源活用の在り方検討が必要。
- Q 伊計島のサーフィンスポットでのサーファーによる農道への迷惑駐車で迷惑していると聞く。駐車場整備は可能か。
- A (座喜味農林水産部長) 農道への迷惑駐車に対し注意喚起の看板を設置しているが解決していない。伊計自治会から駐車場整備の相談があったが、周辺は保安林や農振地域のため整備は難しい。

行政連携

たま き まさ や  
**玉城 政哉** 議員（かけはし）

# 市道赤野港原線道路整備及び赤野漁港内の活性について

答弁…赤野漁港へ通ずる臨港道路  
天願線の整備計画がある



空き地・空き家から越境した草木の対処

津堅島環境問題

- Q 空き地・空き家の敷地から越境した場合の対処法について伺う。
- A (松岡市民生活部長) 伐採等を所有者に求めても応じない場合や所有者が特定できない場合、民法233条により、越境先の土地所有者が伐採することができるとのこと。
- うるま市公共施設間連絡バス
- Q 公共施設間連絡バスのバス停を各自治会へ移動も可能なのか伺う。
- A (名嘉眞都市建設部長) クリアする条件は幾つかあるが移動の検討自体は可能であると考えている。
- Q 公共施設間連絡バスの最終時間の変更が可能か伺う。
- A 最終時間の延長については、延長する目的を踏まえ、別の手段も含めて慎重に検討していく必要がある。
- 津堅島内に、ごみ焼却施設が設置されているか。
- A (松岡市民生活部長) 平成30年度より小型焼却炉（チリメーサー）を設置している。
- Q 島内排出ごみは島内焼却で間に合うのか。
- A 小型焼却炉の処理能力から計算した場合、全てを焼却することは大変厳しい。
- Q 今後の小型焼却炉運転事業について伺う。
- A 排出量を確認しながら、費用対効果及び小型焼却炉の在り方を検討していきたい。
- 公の場（しまくとぅば語やびらうるま市大会）における不適切な発言
- Q しまくとぅば大会で卑わいな言葉があったことについて教育委員会の考え方を伺う。
- A (嘉手苺教育長) 公の場で、笑いを取るつもりであっても不適切な話題は、一切避けるべきだと考えている。

たい ー かず お  
平良 一雄 議員 (新政クラブ)

## 石川市民プールを一年中利用できる温水化に改修しては

答弁…学校プール在り方基本方針策定の中で方向性をまとめる



地域要望



### 石川地域まちづくり推進計画

❑ 石川―C周辺交流拠点形成、その後の進捗は。  
A (金城企画部長) 用地取得に向けた事業認定に必要な調整、また交通結節及び交流拠点における規模と配置を検討するため道の駅、ホテル事業者等への聞き取り調査を行っている。  
❑ 石川庁舎周辺の利活用の進捗を伺う。  
A にぎわい創出に向けた検討、昨年度に引き続き、実証イベント「I S H I K A W A B A S E 2025」を来年1月5日まで実施する予定。  
❑ 東恩納周辺の新たな土地利用はアンケートをもとに開発指針、コンセプト立案に努めるとあったが、その後の進捗は。  
A 開発指針、コンセプト立案及びゾーニングの設定を行った。今後は事業手法の選定・評価、事業化に向け方策を検討し、土地利用基本計画の策定を行う予定。

### 国保加入者の医療費

❑ 直近3年間の国保加入者と医療費推移は。  
A (古謝市民生活部参事) 加入者は令和4年度3万5,792人、5年度3万4,458人、6年度3万3,480人と年々減少傾向。1人当たりの医療費は令和4年度約33万円、5年度約34万円、6年度約36万円で年々増加傾向である。  
❑ 健康講座受講者と非受講者の医療費の比較及び今後の方策を伺う。  
A 令和3年度の受講者19万1,518円。それに対し非受講者は33万4,387円で4年度、5年度いずれも講座受講者の医療費が低い。今後は特定健診受診券通知時に健康講座の案内やオンライン形式や録画講座を導入し、受講環境を整備したい。  
※その他「うるま市産業集積促進基本計画」「うるま市公園の里親制度」等について質問しました。

### 公園施設

かねもと みつはる  
兼本 光治 議員 (与開之会)

## 勝連南風原ふれあいパークの現状について

答弁…供用開始から約26年が経過し不具合の発生箇所もある



### 勝連南風原ふれあいパーク整備

❑ 平成11年に完成し、26年余が経過し、公園の老朽化が急激に進み、トイレは完全に使用できない状態である。当局の答弁では財政当局と調整し、早めに対応したいとあったが、現状を伺う。  
A (名嘉真都市建設部長) 供用開始から約26年が経過し、公園内施設にて経年劣化による不具合が発生している箇所もある。  
❑ 当局も経年劣化による不具合を認識しているが、今後のトイレ整備及びパーク内整備計画を伺う。  
A トイレは、次年度予算措置を行った上で修繕を行い利用者が快適に使用できるよう努めたい。パーク内整備は利用者の要望を聞きながら維持管理の範囲内で取り組みたい。



南風原ふれあいパーク

### 県道37号線・湾岸道路整備計画

❑ 与那城照間から海中道路までの雑木等伐採について現状を伺う。  
A (金城企画部長) 総延長約2.5kmのうち約800mの区間の伐採を昨年度完了している。  
❑ 県道37号線と那城照間から具志川食糧前交差点までの道路現況を伺う。  
A (名嘉真都市建設部長) 舗装の凹凸が断続的に見られ、一部運転に支障を来すほどの損傷があることを確認している。  
❑ 今後の事業計画を伺う。  
A 当該道路は、令和8年度から10年度に補修工事を予定との県からの回答。



県道 37 号線



雑木林伐採後の風景



い は よし あき  
**伊波 良明** 議員 (津梁)

# 楚南2号線道路整備に併せた 楚南地区修正整備が必要では

答弁…現在凍結中だが地主会の意向  
調査や意見交換を実施したい



**楚南地区**



## 観光振興

◎誘客促進や消費額の拡大に向けたプロモーション活動や施策の誘客戦略を伺う。

▲(岸本経済産業部長)

イベントや友好都市でのプロモーション活動で本市の認知度向上、来訪動機づけ、うるまファン獲得を図る取組を展開する。市内観光関連事業者との連携強化にも取り組む。

◎まちづくり事業を踏まえた観光戦略は。

▲(金城企画部長) 通過型観光が課題。石川IC

周辺は沖縄本島の中心に位置し、どこにでもアクセスしやすい立地を最大限に発揮できるワンス

トップロビーとして多目的ドーム活用と併せた感

動体験の拠点、セントラル

ルゲートウェイとし新交通

拠点として構築したい。

◎地域の実情にあった観光

資源の有効活用など観光

振興について市長の所

見を伺う。

▲(中村市長) CAVE OKINAWAの件も

計島のN高等学校では年間4,000人、関連してZEN大学の学生が来るようになった。観光物産協会や商工業事業者と連携を図る。

## 石川地域まちづくり

◎伊波城跡の石積みは築700年たち地震等自然災害による崩壊が危惧される。また、発掘調査の時期を伺う。

▲(嘉手苅教育長) 現時

点で特に危険箇所はない

と確認。発掘調査は勝連

城跡や安慶名城跡の調査

状況を勘案して実施する。

◎城前小学校正門通りの

道路整備の進捗状況、事

業完了予定を伺う。

▲(名嘉真都市建設部長)

令和6年度決算時点で物

件補償約64%、用地買収

約44%、全体では約76%

で令和8年度完了を予定

◎城前小学校正門通りの

通学路にグリーンベルト



**育児  
応援**

や ま し ろ り ょ う た  
**山城 良太** 議員 (希望のいぶき)

# ミルク代、おむつ代の支援について

答弁…社会福祉協議会や民間団体の  
寄付等で支援が届くよう対応



## 食育

◎給食の残食量と割合について伺う。

▲(鹿川学校教育部長)

一人当たりの残食量は中

学生で150g、小学生

で180g。残食率は、

中学生が9.9%、小

生が13.8%である。

◎学校給食の残食量等を

踏まえて、一次産業従事

者の見学、体験を試みる

食育の取組も、食への感

謝の心が育まれ有効だと

考えるが見解を伺う。

▲一次産業従事者の働く

姿の見学、実際に体験す

ることは大変意義のある

取組である。地域の生産

者と連携を深め、児童・

生徒が食に対して実感で

きる機会を学校とともに

工夫していきたい。

◎不登校児童の親御さん

が心安らぎつながる仕組

みつくりを整える取組も

必要だと考える。見解について伺う。

## 補聴器の助成制度

▲(鹿川学校教育部長) 保護者間で情報交換を行い、共有することは意義のあることだと認識している。他自治体における保護者への支援状況について、情報収集に努める。

◎本市は20人を上限とした補聴器助成制度だが、同制度実施の他自治体の人口と比較し、応募が間に合わなかった方々もいることを考慮して、上限枠を30人に拡げることについて見解を。

▲(田崎福祉部長) 令和6年度から実施した事業であるため、効果を評価し、高齢者福祉の増進において、優先性や有効性を総合的に勘案する必要があると考える。

※その他「電動車いすの購入支援」「自治会委託分」「アカザンガーの水質」「空き家利活用」について質問しました。

おもしろなおし  
大城直 議員（かけはし）与那城総合公園周辺の早急な  
対応について伺う答弁…臨港道路及び与那城総合公園  
内も除草作業する環境  
整備

## 観光行政

◎今回も来年2月に第4回全日本ウイングフойル大会が開催。大会PRに行政の力が要だが大会の周知等協力が可能か。

▲（岸本経済産業部長）市大型ビジョンや市の情報媒体を活用し可能な限り協力する。

## 公園・道路等里親制度

◎平敷屋タキノ公園は公園里親制度で平敷屋自治会の管理だが、丘陵地のため、高木の枝打ち等の危険個所作業が存在。当該作業の対応について伺う。

▲（名嘉真都市建設部長）当該公園の危険個所作業は、自治会の相談により対応する。

◎県道8号線～県道239号線の湾岸線は道路照明もなく不便。3年前に県に設置要請したが一基も設置されていない。市からも道路照明灯設置要請ができないか。

▲県中部土木事務所に整備要請したところである。

防災フェスタ  
2025 in かつれん

◎海上自衛隊沖縄基地隊と陸上自衛隊勝連分屯地の協力で、第1回防災フェスタ in かつれんが、9月14日に平敷屋漁港で開催され、成功裏に終わったが、来年度以降地域自治会に開催の呼びかけができないか。

▲（大田防災広報対策部長）防災イベント開催については、各自主防災会への周知などに取り組んでいきたい。

## 勝連地区まちづくり

◎勝連B&G体育館と武道場の再整備について検討できないか。

▲（岸本経済産業部長）現時点での建て替えの予定はなく、うるま市総合体育館へ集約する方針である。

日程  
変更またよし のりひさ  
又吉法尚 議員（希望のいぶき）あやはしロードレース、高校  
卒業式と重なり日程変更を答弁…第24回大会の開催日は令和  
8年1月18日曜日となる川崎ルーシー河線  
道路改良工事

◎コープ入り口交差点に信号機を設置していただきと地域住民も学校も私も開通前から言っているが、実現性について伺う。

▲（名嘉真都市建設部長）信号機設置に係る諸問題について自治会を中心に、周辺住民による合意形成に向けて調整している段階であると同っている。

◎J A川崎取次店入り口の信号機を移設した方が早いのはと地域の声もあるが。

▲県警察本部及びうるま警察署と協議してきたが、当該道路事業における関連工事であれば早期の移設が可能となる。

◎信号機移設までのスケジュールと移設した場合、J A川崎取次店交差点の安全対策について伺う。

▲自治会から要請を受ければ、令和9年度の本事業期間内には移設したいと考えている。安全対策については、交通規制の手法により変わるが、可能な安全対策を行う。

昆布地内生活環境  
整備

◎大きな土山が目立つところにある。四、五mの高さがあり近隣住民は迷惑している。現在の状況を伺う。

▲（田場都市建設部参事）令和7年9月9日から盛土を削り、高さを下げる作業を進めている。改善に向け指導を続ける。

◎盛土ができたためにこの近くで水の流れが悪くなっている。市はこの排水溝整備の案件に対し、どう指導していくのか。また、今後の排水溝整備を伺う。

▲一部の家屋側で排水等が悪いなど、盛土の影響と思われる箇所がある。盛土の撤去作業に併せて排水機能の改善についても指導していく。



うえにし まり  
**上西 真理** 議員（うるま市民クラブ）

# 南西シフトにおける市内避難 シェルターの建設予定は

**有事  
想定**

答弁…現在のところ整備計画等は  
なし



## 公園整備要請

Q バスケットボールコート設置数は。

A (名嘉真都市建設部長) 石川2、具志川9、与那城1、勝連地域にはない。

Q 3×3サイズやリング設置は。

A 周辺整備を伴い多額の費用で大変厳しい。

Q 平安名・内間・饒辺地区の公園整備を望む。

A 勝連総合グラウンド緑地を防災機能や大型遊具等を配置し再整備する。

## 道路整備要請・実現

Q 県道224号線平良川～上江洲の交通事故再発防止対策ができないか。

A (名嘉真都市建設部長) 中部土木事務所へ要請と市関係課連携で検討する必要あり。

## 先進地の自治会加入 促進手法提案

Q 行政内で連携し、集合住宅建設の建築確認時、自治会と事前協議し、結果報告書の提出を求めている先進事例を提案する。

A (田場都市建設部参事) 担当部署の意見を確認しながら今後検討する。

Q 提案した協定書締結や手法を自治会長連絡協議会への進達と意向調査は。

A (松岡市民生活部長) 情報共有を図り、事業見直しや選択を協議する。

## 県道37号線樹木の 伐採要請・実現

Q 県に雑木伐採要請書を照間自治会長と提出した市の伐採完了予定は。

A (金城企画部長) 令和10年度完了を見込む。

※その他「なかきす大橋の全面柵要請」「兼箇段喜仲線歩道」「国民保護法訓練」「選挙有効判断と選挙時障害者臨時駐車場」「630ジェット機墜落事故常設展示整備」「石川プール」「与那城小防球ネット」「教職員超勤と駐車場料金徴収」「屋慶名地区活性化」「ハワイ渡航費」等について質問しました。

くらね たけし  
**藏根 武** 議員（与開之会）

## 環境 整備

# 海中道路両側の雑草や平安座 入り口の雑草等の除去対応は

答弁…県から道路利用者に影響が  
ある範囲の対応を行うとの回答



## 地域活性化

Q 与那城陸上競技場の照明が薄暗く、避難した場合に避難者が困らないよう防災の面からも与那城陸上競技場照明の設置・整備ができないか。

A (岸本経済産業部長) 既存の照明灯のLED化への検討を行い、充分な照度が確保可能か調査を行う必要がある。

Q 与那城陸上競技場の屋外にある2つのトイレの整備についても伺う。

A 屋外トイレだけではなく施設全体の機能強化を図る観点から、ほかの有利な財源活用も含め検討を進めていきたい。

## 教育行政

Q 文科省の調査では、ICTでの遠隔地とのやり取りで生徒の英語力に効果があるとしているが、本市の英語教育でのICT活用は。

A (鹿川学校教育部長) 英語教育におけるICT活用は小・中学校の児童・生徒に対し、文科省の事

業としてデジタル教科書が配布され、音声機能を用いて発音やリズムでの学習、文字情報の提示などの活用が行われている。また、中学校では実証事業として英語学習プラットフォームを導入し、昨年度はオンラインで海外交流を実施。今年度はAIを用いた発音判定を行うことで、中学生の英語学習に対して効果を上げているとの報告がある。

Q 英語検定の補助方法は。

A 市立中学校に在籍、もしくは市在住の中学生のうち、合格した生徒の保護者に対し検定料の2分の1を補助している。

Q 英語検定準2級以上の全額補助は。

A ほかに漢字検定や数学科検定などの各生徒の学習意欲を高める取組があり、慎重な検討が必要。

てんがん ひさし  
天願 久史 議員（津梁）

# 回答拒否や虚偽回答をした 場合にどうなるのか

答弁…重要性から 50 万円以下の  
罰金が科せられる旨の罰則規定

国勢調査



## 農業振興

Q 農家の経営安定と支援制度の検討状況について

A (座喜味農林水産部長) 先進地事例の視察研修や実験的展示圃の設置を実施。必要な支援策の調査・研究を継続する。

Q 報道等で指摘のヤギの近親交配による繁殖障害などの問題について

A 異常が発生しているとの情報は伺っており現状を注視し、県や関係機関と情報共有を図りながらどのような支援が必要なのか調査・研究していきたい。

## 全島獅子舞フェスティバルに関連する事項

Q 沖ツラとのコラボに関する著作権の取得状況及びこれらのグッズ等の売上げが生じた場合の収益の使途や方針について

A (嘉手刈教育長) 著作権使用に関わる契約手続を行っており、売上げが生じた場合は必要な警備費用や出演者の舞台周りに係る安全対策等に充てる予定。

## 観光・経済振興

Q 今後のあやはし館の活用計画においてリゾートウエディングの導入や関連産業との連携も視野に入れた検討について

A (岸本経済産業部長) 勝連・与那地域まちづくり推進計画で位置づけられている海中道路やあやはし館・ロードパークの魅力向上を図るプロジェクトにおいて検討する。

Q 阪神タイガースに関連して日本シリーズのパブリックビューイング開催について

A (中村市長) 試合の応援に関する取組については、キャンプ地としての機運醸成及び盛り上がり創出に重要であり検討を行っていきたい。



い れい ただし  
伊礼 正 議員（うるま市民クラブ）

# 私立小学校給食費に対する 補助を設けていない理由は

答弁…県の事業のため詳細な理由  
まで把握していない



## 旧与那城庁舎及び 県道37号の利活用

Q 利活用について地域住民の意見を反映するとのことだが、何をもちて地域住民の声か。本計画を策定する前に現地踏査は住民からは東海岸計画の早期実施を望む声があるが。

A (金城企画部長) 民間主体の開発を想定して、地権者の意向がベースになる。事業エリアが概ね確定した段階で詳細な現地踏査が必要と考える。

## 市長杯モーター スポーツ

Q 市が初回、2回、3回と事業に予算付けをして市長杯を行うことに關し伺う。

A (金城企画部長) 地域の宿泊や飲食等の消費効果を確認し、将来的に民間主催へ移行を目指す。

## うるま市実施計画

Q 感動産業特区プロモーション事業とは。

A (岸本経済産業部長) プロモーション活動を県内外で行い、市の認知度向上及び来訪動機づけ、うるまファン獲得が目的。

## 平安名屋慶名線道路 整備事業

Q 本事業の目的と概要は。  
A (名嘉眞都市建設部長) 与那城・勝連各拠点連携と緊急時の重要な避難道路として、延長1.5km、幅員13mの両側歩道と一部区間幅員10.5mの片側歩道で計画。

## 学校給食

Q 小・中学校の摂取カロリーは、国の基準に沿っているのか。

A (鹿川学校教育部長) 場合により基準に満たない場合あり。

※その他「うるま市と世界に誇れる芸能文化」給特法及び教職員の働き方改革「活動停滞文化芸能団体支援」「県道37号線樹木伐採」等について質問しました。



学校給食



## 令和7年9月定例会常任委員会の審査概要

委員会に付託された議案・発議案・請願・陳情について、各常任委員会が担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

### 総務委員会

当委員会では、認定2件、承認1件、議案10件、陳情1件を審査した。

主な審査内容として『令和6年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について』、委員から「避難場所案内板整備事業について、整備実績はどうなっているのか」との質疑があり、当局から「整備実績は、市内の避難場所案内板として、海抜表示板が5か所、避難場所の案内板等が64か所の合計149か所となっている」との答弁があった。また、委員から「感動産業特区まちづくりブランディング事業の中で、実際にどういったことに取り組んできたのか」との質疑があり、当局から「昨年度業務の中で取り組んだものは、感動産業特区のビジョンや将来像を明確にしなが、うるま市の特産品などを認定する新たな制度としてまなまうるまセレクションや、市民の感動の声を集めたまなまうるまチャンネルを開設し、市民や事業者向けにまなまうるまの理念などを広めてきた。また、感動産業特区まちづくり推進本部を立ち上げ、ブランディングに関する各種取組などについて、民間事業者も含めて話し合う場を設けてきている」との答弁があった。

審査結果として、認定案件は認定、承認案件は承認し、議案は全て原案可決した。また、陳情1件は継続審査となった。

### 建設委員会

当委員会では、認定3件、議案8件、陳情3件を審査した。

主な審査内容として『令和6年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について』に、委員から「歳出8款5項1目空家等対策計画策定事業について、委託先はどこか」との質疑があり、当局から「うるま市空家等実態把握調査業務として、株式会社ゼンリンインターマップに委託している」との答弁があった。関連して委員から「実態把握調査において、空家として判断する基準などはあるのか」との質疑があり、当局から「株式会社ゼンリンインターマップが保有している空家等のデータを基に、市が独自に調査した情報と突合せながら現地調査を行った。1年以上居住実態のない可能性が高い建物を空家としている」との答弁があった。

審査結果として、認定案件は認定し、議案は全て原案可決した。また、陳情3件は継続審査となった。



空き家問題にまつわるイメージ

### 教育福祉委員会

当委員会では、認定2件、議案6件を審査した。

主な審査内容として『令和6年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について』、委員から「新石川調理場整備運営事業の進捗状況について」質疑があり、当局から「工程どおり順調に整備が進んでおり、令和8年度の2学期を目途に給食の提供ができるよう進捗管理・確認を行っている」との答弁があった。また、委員から「同事業の委託料について、説明資料でモニタリング支援を行っている」とあるが、その内容は「この質疑があり、当局から「事業実施にあたって、市が示した要求水準書の内容を満たしているかなどのチェックを、第三者機関に委託して行っており、市と運営事業者が行う毎月1回の会議にも同席してもらい調整・協議等を行っている」との答弁があった。

審査結果として、認定案件は認定し、議案は全て原案可決した。



令和8年度、2学期からの給食提供に向けて整備が進む新石川調理場

### 市民経済委員会

当委員会では、認定3件、議案14件、陳情9件を審査した。

主な審査内容として『令和6年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について』、委員から「野犬・ハブ等対策事業寄附金に、寄附者及び使途について」質疑があり、当局から「(株)バイオマス再資源化センターからの寄附で、使途は州崎地区で野良猫へのTNR活動等を行っているボランティア団体への活用を指定されており、当該団体から聞き取りを行い、捕獲器の購入及び普及啓発のためのパンフレット作成への活用を予定している」との答弁があった。また、委員から「肉用牛優良繁殖雌牛ET活用事業の補助実績について」質疑があり、当局から「ET(受精卵移植)事業9件、DNA検査7件に対し補助を行った。事業を行う際、和牛改良組合から補助を希望する頭数などの要望の聞き取りも行っている」との答弁があった。

審査結果として、認定案件は認定し、議案は全て原案可決した。また、陳情1件は採択、残り8件は継続審査となった。

## 意見書・抗議決議の要請事項

## ◆ うるま市ホワイト・ビーチ沖米海軍揚陸艦火災についての意見書・抗議決議 ◆

【提案理由】 ホワイト・ビーチ沖での米海軍揚陸艦の火災に対し、嚴重に抗議するとともに、市民の生命・財産と安全・安心な生活環境を守る立場から、強く要請するため提案する。

【意見書・抗議決議要旨】

令和7年8月20日午後4時22分頃、うるま市ホワイト・ビーチ沖にて米揚陸艦「ニューオーリンズ」において火災が発生し、翌日21日午前4時頃に鎮火したと米海軍第7艦隊より発表があった。

今回の火災について米海軍は、その原因について今なお「調査中」としており、再発防止策の取組等についても公表されていない。

本市議会はこれまでも事件・事故が発生するたびに原因究明や再発防止策の徹底と、速やかな情報提供を求めているが、今回の米海軍揚陸艦火災においても、地域住民にとって大きな不安を与えるものであり、一歩間違えれば住民に被害や影響を与える事故につながりかねない。

よって、市民の生命・財産と安全・安心な生活環境を守る立場から 嚴重に抗議するとともに、下記の事項について強く要請・要求する。

【要請・要求事項】

1. 原因究明を徹底し公表すること。
2. 具体的な事故の再発防止策を早急に作成し、公表すること。
3. 事故等が発生した場合は、速やかに関係自治体へ情報を提供すること。
4. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。



提出者 基地対策特別委員会  
委員長 國場正剛

議決日  
令和7年9月24日

## ◆ 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する意見書・抗議決議 ◆

【提案理由】 ホワイト・ビーチへの度重なる米国原子力潜水艦の寄港に対し、嚴重に抗議するとともに、ホワイト・ビーチへ米国原子力潜水艦を寄港させないこと等を強く要請するため提案する。

【意見書・抗議決議要旨】

去る8月13日午前9時43分、米国原子力潜水艦ロサンゼルス級スプリングフィールドが人員の移送目的のためホワイト・ビーチに入港し、29時間にわたり接岸した後、14日午後2時11分に出港した。

ホワイト・ビーチへの原潜寄港は今年だけで17回目、復帰後675回目（復帰前47回）となっており、寄港の常態化を危惧している。

本市議会においては、平成20年8月に明らかになった原潜ヒューストンの冷却水漏れ事故や同年11月の原潜プロビデンスの通報なし寄港、さらに、近年増加する原潜の寄港について、これまで日米両政府に対し、その詳細な説明と原潜を寄港させないこと等を強く求めてきたが、「米軍による運用上の理由」として詳細な説明がないままである。

東日本大震災から14年以上経過した今日でも、原子力発電所における放射線事故の影響が残存している中、原潜の寄港に伴って懸念される放射線による影響については、市民の不安は大きく、日米両政府の責任は極めて重大である。

平成17年10月に「うるま市非核平和都市宣言」を議決したうるま市議会としても、引き続き国是である非核三原則を踏まえ、日米合同委員会において米国原子力潜水艦の寄港に反対する旨の議題を取上げ、日米地位協定第27条を適用して、今後いかなる理由があるにせよ、すべての原子力潜水艦を寄港させないよう確実に改定することを強く求めるものである。

よって、うるま市議会は、市民の生命・財産と生活環境を守る立場からホワイト・ビーチへの度重なる原潜の寄港に対し、嚴重に抗議するとともに下記事項について強く要請・要求する。

【要請・要求事項】

1. ホワイト・ビーチへ米国原子力潜水艦を寄港させないこと。
2. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

議決日  
令和7年9月24日

## 編集後記

心地よい潮風に秋の香りがまじる頃、うるまのまちもイベントでにぎわいを見せています。

エイサーまつりや産業まつりを通して、地域の絆と活力を改めて感じました。

議会だよりの編集を通じ、市民の皆様には「うるまの今」を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

これからも地元を根ざした紙面づくりに努めてまいります。

ご愛読、にこえーでーびる

天願久史

委員長 平良一雄 副委員長 天願久史  
委員 兼本光治 眞壁朝弘 上西眞理

玉元哉世 玉城政哉 神田洋一  
金城加奈米 国吉亮

令和6年度  
政務活動費の使い道

令和6年度における政務活動費の使い道について、ホームページにて掲載しております。下のQRコードまたはアドレスから、ホームページをご参照ください。



<https://www.city.uruma.lg.jp/shigikai/861.html>